

むゆじげ

118号
No.1118

2018(平成30)年
1月1日

よくばらない
腹をたてない
ぐちをいわない
せめて正月の
三日ぐらいは
おれできるが
なあ
みつを



相田みつを美術館
オリジナルカレンダーより頂きました

発行者:高槻市氷室町2-19-30

浄土真宗本願寺派

萬徳寺

電話(072)696-0666

FAX(072)692-0769

↓スマホからでも見れます

<http://mantokuji.net>

昨年11月12日 萬徳寺第21世住職繼職奉告法要をにぎにぎしく勤めさせていただきました。
 新任職釋芳水ほうすいが萬徳寺の阿弥陀さまと宗祖親鸞聖人の御前において、
 第21代住職として法統繼承したことを奉告する法要を勤めさせていただきました。

- 13時 庭儀（稚児行列）
- 14時 法灯繼承式
- 15時 住職繼職奉告法要（宗祖讚仰作法 音楽法要）
 記念法話
- 15時45分 記念行事 るんぴに太鼓

法要での住職の挨拶



本日は萬徳寺 住職繼職奉告法要に大変お寒い中、ご参拝賜りまして、誠にありがとうございます。

この法要を迎えるに当たって、山門の屋根修復、皆さまの前にお飾りしています御簾みすの新調をご門徒様方のご懇念で綺麗にいただきました。重ねて御礼を申しあげます。

この法要が近づくとつれて、ずっと思っていた事がはつきりと輪郭を帯びてきました。私が、このお寺に生まれ育つて42年になります。お寺があることが当たり前のように錯覚していますが、はじめから萬徳寺というお寺があったわけではありません。

ことなく私のところにまで届けてくださった、この横にいる父親をはじめとして、歴代の御住職・坊守、並びに無数のご門徒の皆さんのご苦勞を思うと、住職の責務に身が引き締まる思いであります。

しかし、私に与えられた仕事は、お寺をただ相続させていくことではありません。その出処しゅつしよ、すなわち鋭吟法師や親鸞聖人が喜びとされたお念仏の教えに、皆さんと共にもう一度出遇い直していくことだと受け止めております。

住職という立場に安住するのではなく、この娑婆世界に埋没するのでもなく、その狭間において自身が抱える迷い



当然そこには出発点があります。お念仏の教えに出遇えたことを喜びとされた人が、その教えを伝え広めようとして、

仏法聴聞の場が開かれた、それがお寺の原点であります。

今を遡ること約540年前、鋭吟法師えいぎんによって萬徳寺に法灯が掲げられたとされます。そしてその法灯が今、私にバトンタッチされるわけですが、その間、消える



法要での前任職の挨拶

本日はお忙しい中、若院主釋芳水の21世住職繼職奉告

法要にご参詣いただきまして、誠に有り難うございます。

私が前任職釋暢夫ちやうふの後を受けて住職の任にならせて

いただいたのは平成12年11月。52歳の時でございます。

その間18年の間、門信徒の方々のお育てをいただき、とりわけ歴代の総代さま、また仏教壮年会の皆さま方、仏教婦人会の皆さま方々からお育てをいただきながら住職の任を勤めさせていただきました。

私が住職として18年勤めさせていただいている間、若院主は西本願寺・本山に奉職させていただきながら、次期住職の器として大きくよく育ててくれたと思います。

ここにいたりましてようやく、親としていのちのちのバ

の身と向き合いながら、皆さんと共にお念仏の生活の歩みを重ねてまいりたいと思います。

何卒、旧に倍して格別のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申しあげてご挨拶とさせていただきます。

トントンタッチ、住職としてお念仏のバトンタッチができるご縁をいただいたと思っております。

若い住職でございますので、どうか至らない所が多々あると思いますが、皆さまのお育てをいただきながら、皆さまの萬徳寺をより有り難がたい念仏道場に育てていくてくれるものと願っています。

最後にこの繼職法要をご協力、支えていただきました総代さま、仏壯の皆さま、仏婦の皆さま方に厚く厚くお礼を申しあげまして、前任職の挨拶とさせていただきます。長年お育てをいただきまして誠に有り難うございました。





稚児行列





住職繼職奉告法要





記念法話

芦屋市西法寺 上原大信先生



年回表

平成三十年度(二〇一八年)

一周忌	平成二十九年	往生
三回忌	平成二十八年	往生
七回忌	平成二十四年	往生
十三回忌	平成十八年	往生
十七回忌	平成十四年	往生
二十五回忌	平成六年	往生
三十三回忌	昭和六十年	往生
五十回忌	昭和四十四年	往生

※亡き方を通して、今私たちは一生懸命生きていますよ、
 とのお心をお忘れにならないようにお勤め下さい。お
 家のご都合で、祥月命日が過ぎてきまっておりますよ。



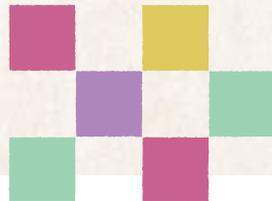


記念行事 るんぴに太鼓



平成三十年度(二〇一八年)
萬徳寺年間行事予定表

- ◎ 本願寺ご正忌報恩講団体参拝
仏教婦人会 一月十二日(木)
- ◎ 本願寺ご正忌報恩講団体参拝
仏教壮年会 一月十三日(土)
- ◎ 門徒冥加金勘定日
一月二十八日(日)
- ◎ 仏教婦人会常例法座
二月、九月
- ◎ 花まつり
四月八日(日)
- ◎ 永代経法座
四月十四日(土)、十五日(日)
(講師 南部松見師)
- ◎ 人生講座
六月二十四日(日)
- ◎ お経の練習会
八月下旬
- ◎ 報恩講法座
十一月十日(土)、十一日(日)
(講師 野村康治師)
- ◎ 萬徳寺キッズサンガ お餅つき会
十二月八日(土)
- ◎ 除夜会
十二月三十一日(月)





前任職の ひとり言



◆2018年(平成30年)あけましておめでとうござい
ます。今年も阿弥陀さまの慈光に照らされて、いただ
たいのちに感謝申す人生を歩ませていただきましょ
う。

◆「生も死も 老いも病いもそのままに まかせてあゆむ
ひとすじの道」(鍋島俊樹)この世に生を享けた喜びは、
同時に死という悲しみも経なければならぬ出発点で
もあります。老いや病いの苦もまた経験せずにはおれ
ないのが人生です。人生の生老病死の苦をそのまま阿弥
陀さまの呼び声にまかせてはどうでしょうか。

◆昨年、11月12日、若住職釋芳水の住職継職奉告法要
では、稚児行列参加の児童の保護者の方々、また、大勢の
門信徒、地域の皆さまがお参りいただき、新住職の晴れ
の姿をみていただきました。これからは新しい住職のも
と、皆さまからお預かりしている萬徳寺が、親鸞聖人の
み教えがもつともつと広まる開かれたお寺に、お育てし
ていってくれるものと思います。

個人情報により非表示にさせていただきます。



11月11日の報恩講では龍大の鍋島直樹先生を
講師にお迎えしました。



12月10日は年末恒例 お餅つき会。
たくさんのお子さんが来てくれました!



奇数月の第3土曜日20時から本堂で夜ヨガを
開催しています。どうぞご参加ください!

浄土に還っていかれました。遺されたお家族の皆さまは、
お寂しい限りですが、どうかこの尊い仏縁を大切にして
下さいませ。亡くなられたお父様、お母様はお浄土で、
明るい家庭を作ってくれよ!お念仏の香る家庭を築い
てくれよ!と娑婆の私たちに願っておられるんですよ。
なもあみだぶつ。

個人情報により非表示にさせていただきます。
大勢の方々が安養のお